第9回
市議会定例会

個人情報保護条例・環境基本条例など可決

市議会12月定例会が12月5日から19日までの会期で開かれ、個人情報保護、情報公開、環境基本の各条例や、情報基盤の整備推進に向けた「地域イントラネット基盤施設整備」に関する補正予算など、市長提出の26件の議案などがいずれも承認、可決されました。

報告・承認

▼専決処分の報告について(2件)＝▽千厩地域内、市道松原平萩線の路面の損傷個所▽川崎地域内、市道千厩線の路面の損傷個所＝において発生した物損事故に関し、損害を与えた相手方に対して賠償すべき額について、市長専決条例の規定により専決処分したので、報告するもの

▼専決処分について(18年度一般会計補正予算(第4号))＝10月5日から8日にかけての豪雨により被災した農業施設について、国の災害認定を受けるため、520万6千円を追加する補正を専決処分したもの

議案

▼下水道条例の一部を改正する条例の制定について＝下水道法、同法施行令の改正に伴い、引用条項の整理および特定事業場からの排水基準を改正しようとするもの

▼過疎地域自立促進計画の変更について＝市内の情報基盤整備の推進に向け、地域イントラネット基盤施設整備事業を実施するに当たり、過疎債の活用を図るため、過疎地域自立促進計画を変更しようとするもの

▼18年度一般会計補正予算(第5号)＝国庫支出金の確定に伴い、地域イントラネット基盤施設整備事業費について5億2700万円を追加補正

▼個人情報保護条例の制定について＝市の保有する個人情報の適正な取り扱いの確保に関し必要な事項を定めるとともに、その開示、訂正および利用停止を求める権利を明らかにすることにより、個人の権利利益の保護を図ろうとするもの

▼情報公開条例の制定について＝公正で開かれた市政を推進するため、市の保有する情報の開示について、必要な事項を定め、個人情報の保護に配慮しつつ、情報の一層の公開を図ろうとするもの

▼個人情報保護・情報公開審査会条例の制定について＝個人情報保護条例および情報公開条例に基づく不服申し立てについて調査、審議するため、個人情報保護・情報公開審査会を設置しようとするもの

▼環境基本条例の制定について＝市における環境の保全および創造に関する施策を推進するため、その基本理念および施策の基本的事項を定めようとするもの

▼駐車場条例の一部を改正する条例の制定について＝東山町駐車場の廃止に伴い、所要の改正をしようとするもの

▼災害危険区域に関する条例の一部を改正する条例の制定について＝北上川の一関遊水地下流部狭あい地区における出水などによる災害の危険がある区域を、新たに災害危険区域に指定するため、所要の改正をしようとするもの

▼簡易水道事業条例の一部を改正する条例の制定について＝川崎簡易水道事業および所狭簡易水道事業を統合するとともに、給水区域の拡大ならびに新たに東山町の一部を給水区域に加えるため、所要の改正をしようとするもの

▼18年度一般会計補正予算(第6号)＝企業立地促進資金利子補給補助金の追加および災害復旧事業費の確定などに伴い、4億5638万3千円を追加補正

▼18年度工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)＝真柴第2工業団地への企業立地に伴う土地売り払い収入および工業団地整備事業費について、2108万7千円を追加補正

▼18年度簡易水道事業特別会計予算(第3号)＝10月5日から8日にかけての豪雨により被災した東稲簡易水道配水池ののり面の復旧に係る経費について、90万円を追加補正

▼18年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)＝4月1日の人事異動による一般職の職員の会計間異動などに伴い、職員給与費を591万7千円減額補正

▼大東町特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結に関し議決を求めることについて＝15年6月17日に大東町議会の議決を経た大東町特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の協定金額を変更することについて、議会の議決を求めるもの

▼岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて＝同組合にかかる議員定数の削減および地方自治法の一部改正に伴う所要の整備を行うため、同組合規約の一部変更の協議に関し、議決を求めるもの

▼岩手県後期高齢者医療広域連合の設置の協議に関し議決を求めることについて＝後期高齢者医療制度の事務を共同処理するため、19年2月1日から県内の全市町村で構成する同広域連合を設置することの協議に関し、議決を求めるもの

▼保護の決定及び実施に関する事務の一部を受託することについて＝岩手県が実施している藤沢町に係る生活保護の事務の一部を、19年4月1日から受託することについて、議会の同意を求めるもの

▼市道路線の認定について＝厳美渓中央線ほか4路線の認定をしようとするもの

▼請負契約の締結について(2件)＝▽弥栄・真滝統合中学校建設(建築)工事について、18年11月30日入札に付し、㈱平野組が落札▽地域イントラネット基盤施設整備について、18年12月11日プロポーザルの審査を行い、東日本電信電話㈱を特定＝したので、それぞれ3億9585万円、4億4835万円で請負契約を締結しようとするもの

▼財産の取得について＝消防団に配備している車両を更新するため、小型動力ポンプ積載車5台を2257万5000円で取得しようとするもの

▼人権擁護委員の推薦について＝19年3月31日をもって任期が満了となる小山磯美子氏と菅原禔子氏の2名を引き続き適任と認め、また、千厩地域で1名の欠員を生じたことから、新たに小岩ヨリ子氏を適任と認め、法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの

一般質問などについては、広報2月1日号と同時に配付される予定の「市議会だより」をご覧ください。

ホットな地域おこしにまちづくり振興奨励賞

千厩町第10区自治会

千厩町の第10区自治会(遠藤敏男会長・会員67世帯)は、地元の鉱泉(通称・たまご湯)を活用した地域づくりへの取り組みが評価され、財団法人あしたの日本を創る協会「18年度あしたのまち・くらしづくり活動賞振興奨励賞」を受賞しました。

12月6日、関係者が市役所本庁に浅井市長を訪れ、受賞を報告。浅井市長は「皆さんの素晴らしい地域づくり活動が全国に認められ、誠に喜ばしい。今後もますます期待しています」と祝福。遠藤会長は「自治会の願いを快く了解いただいた鉱泉と敷地の所有者のご好意に感謝しながら、地域コミュニティーの核として利用しています。初心を忘れず、今後は介護予防事業の利用なども考え、長く続けていきたい」と、笑顔で語りました。

浅井市長に受賞を報告した遠藤敏男・第10区自治会長(右)と遠藤孝志・たまご湯運営委員長(左)

手づくりの〝山の共同浴場〟

「たまご湯」は、千厩町小梨字畑ノ沢地内で明治20年代に発見された鉱泉。17℃の鉱泉水が毎分15㍑わき出しています。

長年、正月やお盆などにこの水で風呂を沸かすならわしがあり、地域で親しまれてきたこの鉱泉を「自治会の地域おこしに活用できないだろうか」と考えた、たまご湯運営委員長の遠藤孝志(たかし)さん(前自治会長)が、鉱泉の所有者に相談。快諾を得て、平成11年に取り組みがスタートしました。

当初は鉱泉水の宅配を行っていましたが、次第に他の市町村からの希望も増えて宅配が大変となってきました。このため、14年春に浴槽小屋や物置、貯水タンク、鉱泉水を温めるためのボイラーなどを設置。16年2月には休憩室やシャワーなどを備えた地元の共同浴場となりました。さらに、新聞や口コミで評判が広がり大勢の人が訪れるようになったことから、同年11月に公衆浴場として許可を得、本格的な営業を開始しました。

敷地の整地からリサイクル品を活用した施設まで、すべて自治会の皆さんが手づくりし、運営も自ら行う、ユニークな〝山の共同浴場〟「たまご湯」。17年度の利用者は1万人を超え、本年度も1万5千人を見込んでいます。また、さまざまなイベントなどへの足湯の出張サービスも行い、好評を得ています。

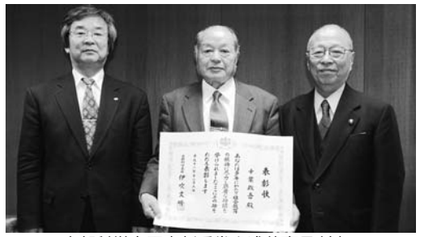
施設の管理は地元老人クラブの皆さんが当番で従事。高齢者の社会参加にも一役買っている「たまご湯」

9月の総合防災訓練でも、たまご湯の足湯を利用した、被災者の気持ちを穏やかにする訓練が行われました

畑ノ沢鉱泉「たまご湯」
◇所在地　千厩町小梨字畑ノ沢地内(国道284号前田交差点を本吉町方面へ約6㌔)
◇利用時間　10:00～19:00
◇休業日　毎月第2・4水曜、1月1日、12月31日
◇入浴料金　500円(中学生以下100円)
◎問い合わせ先　☎53-2618

社会教育の基盤づくりに尽力

千葉政吾さん(大東)　文部科学大臣表彰を受賞


文部科学大臣表彰を浅井市長(右)、藤堂教育長(左)に報告した千葉さん

千葉政吾さん(75)＝大東町大原＝は12月6日、平成18年度社会教育功労者として文部科学大臣表彰を受賞しました。

11日、市役所本庁を訪れた千葉さんは、浅井市長と藤堂教育長に、「PTA活動をきっかけに社会教育に携わり、夢中でやってきた。子どもを取り巻く環境が昔では想像できないような状況になり、教育に家庭や地域の果たす役割はますます重要。今後も身近なところから取り組みに努めたい」と受賞の喜びと今後の決意を語り、浅井市長は「長い間尽くされた活躍がもたらした素晴らしい受賞。これからも地域のため後進のご指導を願いたい」と祝福しました。

千葉さんは、昭和47年から大東町社会教育委員、58年から平成13年までは同委員長を務め、約30年間にわたり社会教育の基盤づくりに尽力。この間東磐井社会教育連絡協議会長を2期4年、さらに、13年から17年まで旧大東町教育委員も務められました。現在も大東大原水かけつり保存会長として、まちづくり活動に活躍されています。